資　料　①
平成２７年１２月１６日
精華町地球温暖化対策地域協議会

連節バスの試走について

（概要）

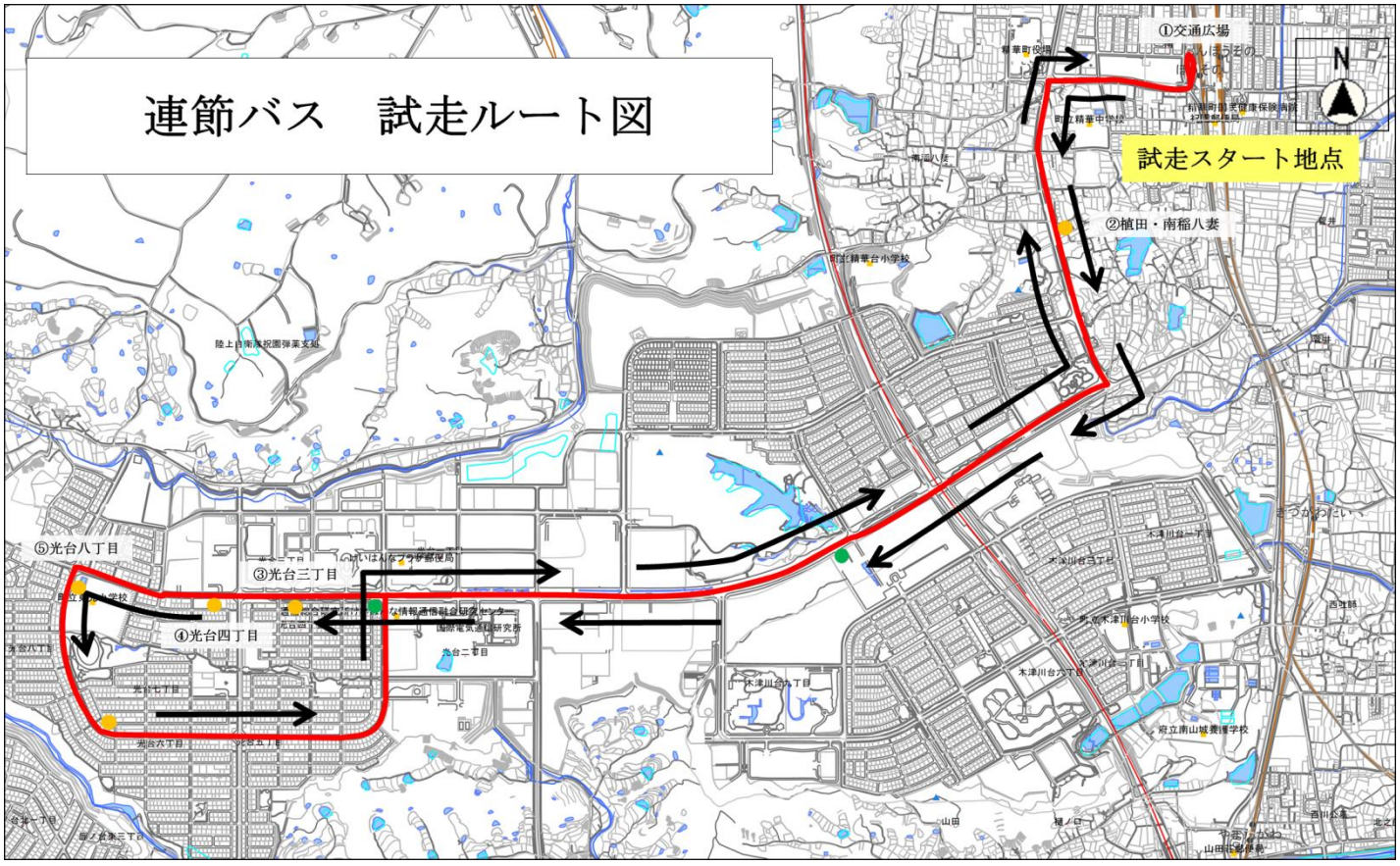
◎試走実施日時

平成２７年１０月３日（土）　午前１１時４５分～午後２時

◎試走ルート

下記図面のとおり

※午前１１時４５分に祝園駅西側の交通広場を出発し、赤線のルートを黒色矢印のように試走を行った。



連節バス試走に関する新聞記事

12 月 4 日　京都新聞

試験走行した2車体接続の連節バス（精華町祝園）

連節バスを試験走行

精華・祝園 ― 学研都市間

需要増受け導入視野に

関西文化学術研究都市とJR祝園駅・近鉄新祝園駅（精華町祝園）を結ぶ新たな公共交通導入を目指そうと、府は3日、2車体を接続した連節バス1台（50席、約120人乗り）の試験走行を精華町内で行った。祝園―学研都市間の往復約11㌔を関係者が試乗し、走行状況を確認した。

府文化学術研究都市推進課によると、近年、学研都市内の立地企業・施設や人口の増加を受け、両駅の乗降客が増えた。通勤時間帯は学研都市と結ぶ従来の路線バス（奈良交通）だけでは需要に追いつかなくなりつつあるという。

連節バスは全長約18㍍。2車体をほろでつなぎ、車内で行き来できる。連節バスを既に導入、運行している兵庫県内のバス会社から借り、精華町と協力して試験走行を企画した。

試験走行には、府や町の関係者ら約50人が参加した。連節バスはJR祝園駅西口を午後0時15分に出発し、約30分かけて精華町役場や国立国会図書館関西館付近を通過する試験ルートを走行した。午後1時半から2回目の試験走行をした。試乗した参加者らは車内からビデオ撮影し、道路幅など走行に支障がないか確認した。改善点を今後、検討する。（山木秀二）

12 月 4 日　読売新聞

「連節バス」試験運行

精華

乗客の増加に対応するため、府は3日、バスを2台をつないだような「連節バス」の試験運行を精華町で行った＝写真＝。関西文化学術研究都市（学研都市）の精華・西木津地区への企業進出が好調なため、府は利用客の増加を見据え、導入に向けた環境整備を行う方針。

連節バスは、全長約18㍍で、通常のバスの約1・7倍。車両の中央付近には方向転換のための節があり、定員は1・5倍の約120人。この日、府が兵庫県三田市で実際に走行している連節バスをレンタルした。

試験運行には、府や精華町の職員、奈良交通の社員ら約50人が乗車。JR祝園駅のバスターミナルを起点に、大通りや住宅街の幹線道路を通り、安全に走行できる環境を確認した。試乗した府の山下晃正・副知事は「低コストで多くの乗客を運べる。今後、学研都市の公共交通の核になるはずだ」と話していた。